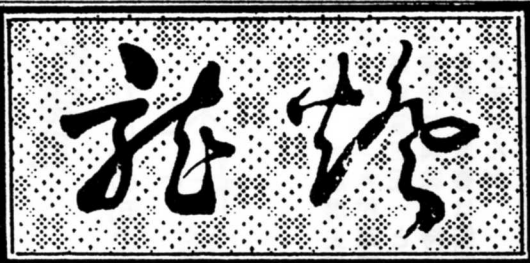


第42号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所  
 靈 龜 山 九 島 禪 院  
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18  
 ☎06-6583-2725  
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)

阪神西大阪線難波延伸工事・平成十五年に着工着手！



# ネット集団自殺

## ―自殺予防の方法とは―

一九九八年以降、自殺が激増し、年間三万人以上の人が自殺しています。また最近では「ネット集団自殺」といって、面識のない男女がインターネットの自殺系サイトで知り合い、集団自殺する事件も続発しています。キリスト教の教理では、自殺は罪悪だとされており、かつて自殺者の葬儀はおろか、教会の墓地にも葬ることができませんでした。

仏教では「捨寿行（しゃじゅぎょう）」といって、自殺を否定していません。仏教の開祖のお釈迦さまは天寿（百二十歳）を全うせずに、八十歳で亡くなりました。つまり四十歳の寿命を、ご自分の意志で捨てられたのです。また、釈尊の十大弟子の一人で、智慧第一の舍利弗も釈迦よりさきに亡くなりました。入滅を希望され、お釈迦さまの許可をえて死んだと伝典は伝えられています。

お釈迦さまや舍利弗といった悟りを開いた人は、むしろ自殺をしたほうがよいとされている

のです。というのは、人間が生きていくには、動物や植物の命を奪わねばなりません。悪業をつくらぬために早く自殺したほうがよいとされるからです。

しかし、いまだ悟りを開いていないわたしは凡夫は、絶対に自殺してはいけません。なぜなら、凡夫は輪廻する存在であって、この世を自殺すれば再び天界、人間界、修羅の世界、畜生界、餓鬼の世界、地獄界のいずれかに生まれ変わります。人間界に生まれるとは限らないのです。人間界に生まれなければ、来世における仏道修行のチャンスはなくなるし、たとえ人間界に生まれても、そう簡単に仏道修行できるとは限らない。だからわれわれはこの現世において仏道修行をつづけたほうがよいのであって、仏道修行のチャンスがなくすような自殺はしてはいけません。いくら苦しめても、この世にあって修行をつづけるべきだと仏教は教えています。

「死にたいと言っている人間

は死なない」と言いますが、それはウソです。死にたいと言っている人間は死にます。そう思っただけで予防していきことが必要なのです。その人はSOSをだして続けているのですから。

自殺を考えている人に、死んではいけないなどと正論をおしつけたら、下手な説教するよりも、その気持ちを聞いてあげ共感してあげることが自殺防止に効果的なのです。

最近では、インターネットでも連鎖自殺を防止するため、「いのちの電話」など、多くの自殺予防のためのサイトを簡単にみつけることができるようになりました。

ご家族や友人が自殺してしまった方々は、そのSOSに気づかなかつたと自分を責めないで下さい。必要以上に自分を責めても何も良いことは生まれませんから。



# 新発見

なにわの知の巨人

## 木村蒹葭堂と九島院

今春、大阪歴史博物館で開催された「木村蒹葭堂展」で「蒹葭堂日記」という和綴りの書物に興味を持ちました。勿論、原書は能筆で判読はできませんが、一覽後に二階資料室で、昭和四七年に翻刻出版されたものを読み探し、九島院の文字を目に感激しました。それには、次のように記してありました。

天明二壬寅年(一七八二)正月六日 九島院卜林師来駕  
 十八日 他行九島院油吉若儀  
 昼後帰宅 三月五日 曇 九島院卜林師来 六日 晴 他行 九島院片山中 米長 油吉 山本権介 篠長 銅座伊東友助 行 東友助 行

木村蒹葭堂(けんかどう)は、通称を坪井屋吉右衛門といい、元文元(一七三六)年に北堀江に生まれました。現在の中央図書館の南、西高校本校舎あたりに屋敷がありました。酒造業を営むかたわら本草学や博物学、書画、詩文

などさまざまな分野に精通し珍しい物産や書籍を集めた蒹葭堂の居宅には、全国から多くの文人墨客から学者文化人大名、ついには諸外国の人まで訪れ、国学者の上田秋成、蘭学者の大槻玄沢、文人画家の池大雅など人脈は幅広く、「当時の文化人で蒹葭堂を知らない人はもぐり」とまで言わしめ、彼の居宅は知識人の一大サロンでもあったといえます。

「蒹葭堂日記」にある、九島院卜林師、九島院油吉、九島院片山中 米長 油吉 山本権介 篠長 銅座伊東友助とはなんなのか。考察してみようと思います。

天明二壬寅年の住持は、三代蘭州和尚で、沢の鶴酒造の社主西村家のご先祖にあたり、漢学者で茨木市の蓮花寺の梵鐘銘をはじめ、漢詩に堪能で、とくに混沌社の士と交友し、葛子琴とは親しく「葛子琴詩抄」にその交友を示す



木村蒹葭堂

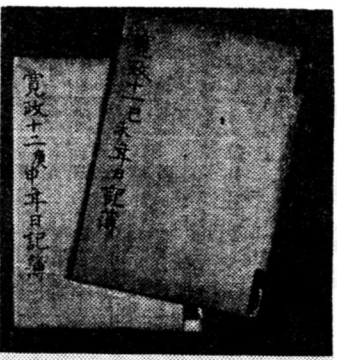
漢詩が多くみられます。日記中の「片山中」とは、片山北海、即ち混沌社の社中のことで、米長 油吉 山本権介 篠長 銅座伊東友助たちと九島院へ行ったということ、漢詩に堪能な住職の蘭州和尚を訪ねて蒹葭堂一行が来院されたようです。

因みに、当院には蒹葭堂会以来「混沌社」に参加した医師の福原丹安、承明の父子の墓もあり、混沌社との交友を想像できます。承明は、父丹安のあとを継ぎ、医を業としました。文学の造詣深く詩文に長じ、かねて書画・篆刻並びに筆筭(ひちりき)等の諸芸に通じ、朝鮮通信使石竜洲に会った時、竜洲その類才に感じ水雲居士の号を呈したといえます。不幸にも年三十四歳で天逝し、頼春水は「在津紀事」上で、「福原承明早く死す、諸友九島禅院二会シ詩ヲ賦シテ之ヲ弔ウ。」と記しています。

また、十五代住持恵眼和尚は、徒弟時代の文政二巳卯年十月十四日付けで篠崎小竹の門人帳に名を連ねています。篠崎小竹は頼山陽(春水の子)の親友で、養父の篠崎三島は混沌社発足時の十五人の一人でした。

小柄、縁あって平成六年一月二十五日から、鳴々吟社主幹森崎蘭外先生を招聘して漢詩の会を主催しています。氏は、大阪に混沌社最盛期のよいうな漢詩人集団の回復をめざしておられます。

今日の学校教育は、「子曰く・・・」など論語の素読をはじめとして、漢文教育が欠落しています。現代っ子僧侶は小柄を含め「チンプンカンプン」の世代ですが、禅宗の僧侶は、漢詩の素養は必須です。ので、世代住職に恥じないよう、蘭外先生の警咳に触れ精進していく所存です。



22 蒹葭堂日記(花月菴本)

阪神西大阪線難波延伸工事・平成十五年に着工着手!



○総代補任のご報告

浜田文夫氏の総代退任のあ  
と、しばらく空席でしたが、  
平成十四年三月二十日付けで  
中村 司氏(高石市羽衣一丁  
目十三一十八)に当院の総代  
をお願いたしました。ご苦労を  
お掛けしますが宜しくお願い  
いたします。「九島院」寺院規則  
により、檀信徒の中から住職  
が選任いたしました。

○会館一階の模様替え

尚、ご報告の遅れたことを  
お詫びします。  
龍燈会館一階多目的ホール  
を畳敷きに改装しました。本  
堂に襖絵を新調した後、法事  
などでの齊食に利用するため  
です。  
昨年実施しました本堂改修  
工事は三千六百万五千三百五  
十四円の工事費用がかかりま

○訪中の延期

した。九島院寺院会計より支  
出しました。(喜捨分含む)  
SARS(新型肺炎)の為  
第十一次訪中(中国福建省の  
祖山万福寺への大般若経の奉  
納・転読法要)は延期されま  
した。小柄も参加予定でした  
が、思わぬことで、一日も早  
く事態の收拾がなされますよ  
う祈っています。

「普陀山」は浙江省の舟山列島の東端にある南北 8.6  
和、東西 3.5和の小島で最高峰の仏頂山は標高 291メートル  
中国四大聖地の中で唯一海上にある。

唐の時代 858年  
開いたという観音菩薩  
慧鑊禅師が禅を日  
台山で授かった観音は  
うとしたが、風には  
た。観音像がこれ以  
でいるのだとし、彼  
「不肯去観音院」を  
陀山にはじめて仏寺  
鑊は普陀山の開山と  
めることとなった。  
島には、普濟禅寺  
の三大寺をはじめ多  
年を通して善男善女が訪れる。1997年秋には、高  
33メートルの新しい観音菩薩像が完成し「南海大観音」と  
付けられた。上海から船で12時間を要する。



日本僧慧鑊(えく)が  
薩の霊場である。五  
本に伝えようとして、  
像を抱いて帰国しよ  
ばまれこの地に着い  
上東に行くのを拒ん  
は紫竹林に庵を結び  
建てた。こうして普  
が生まれ、日本僧慧  
して後世に名をと  
法雨禅寺、慧濟禅寺  
くの寺院があり、一  
くは、高き  
33メートルの新しい観音菩薩像が完成し「南海大観音」と  
付けられた。上海から船で12時間を要する。

第十回修養会のご案内

本年も修養会の参加者を募集します。本年からは黄檗  
宗寺院の大仏巡拝を三回にわけて予定しています。  
第一回として、岐阜金華山麓にある正法寺を拝塔しま  
す。ご本尊の「岐阜大仏」は、奈良・鎌倉とともに日本一  
三大仏に数えられ、像高13.63メートルもあり、金箔  
切経ほか膨大な数の写経を張り、その上に漆を施し、金  
をおいたもので、とても珍しい仏さまです。三十八年の写  
経の紙が、見事に大仏に姿を変えたのです。是非この機  
会に拝観されることを勧めます。同寺の普茶料理をいた  
だいた後、ロープウエーで金華山にのぼり岐阜城を見物  
します。眼下に長良川の清流をながめ、齊藤道三・織田  
信長の気分を味わってみては?

募 集 要 項

- 日 時 11月16日(日) 8時15分 出発
- 集合場所 九島院より貸し切りバスに 乗車
- 旅 程 九島院 — 岐阜正法寺(拝観・普茶料理)  
— 岐阜城 — 九島院(午後6時半頃解散予定)
- 会 費 1万円(食事・拝観料込み当日徴収)
- 募集人員 40名(満員になり次第締め切り)

※先着順です。申し込みは当院(☎06-6583-2725)  
まで。出発日の半月前に確認書をご郵送します。

# 奉納抄

○観音像（平成十五年二月）・創作人形「求道」寄贈（同年五月）

多賀栄美子さまより観音像一鉢と故絹川勝一さまより創作人形（銘あり）「求道」が寄贈されました。

○金五万円喜捨（平成十五年五月）

和田すゑさまより、襖絵の足しにとご喜捨を頂きました。有意義に使わせて頂きます。

# 編集後記

▼阪神タイガースが快進撃しています十八年ぶりの優勝も現実味をおびてきました。

▼パリーグの大阪近鉄バッファローズも好調で、小紙の託宣の「日本シリーズ西大阪線対決」が実現するかもしれません。

▼ただ、大阪出身の代議士、松浪健四郎議員が秘書給与肩代わり問題などの不祥事で居座り続けているのは、大阪

人として残念なかがりです。▼星野阪神の「ネバー・ネバー・サレンドー（決してあきらめない）」は、優勝という目標のため最後まであきらめないことで、決して、居座りを続ける為のものではないはず。▼人生には優勝はありませんが、自分の目標にむかって一途に進む、それこそ、「ネバー・ネバー・サレンドー」の精神で勇往邁進したいものです。▼念願の襖絵は構想もかたまり、いよいよ十月から製作にかかられます。

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参の折り、郵便振込でも結構です。

## ●看板犬リョウとケイ！

「わんわん共和国」というペット雑誌がありまして、先頃、ロス事件の三浦和義氏が万引きしたと有罪になった雑誌です。その5月号に、拙寺の愛犬2匹が「評判の看板犬」と見開き2頁で載りました。

一匹は幼犬時に重病を患ったためか、すっかり甘やかしてしまい、ネコ可愛がりならず、お犬さま可愛がりして、小柄がお世話させて頂いております。雑誌記事を抜粋して紹介します。・・・実はこの近所では毎日、ある光景が見られること有名らしいのです。それは「早く来いよ」とばかりに2匹の犬に引きずられるように散歩する（される？）和尚さんの姿。昼と晩に約40分をかけてたっぷりと歩くが、それを見た近所の人はず「また引きずられているわ」と笑みをこぼす。当の和尚も、そんな散歩が楽しくてたまらない様子なのですが・・・

寺では多くの犬を飼いましたが、全て番犬で敷団犬として飼ったのは初めてで、ましてや一緒に寝るなんて考えもおよびませんでした。

「子は鏝（かすがい）」といいますが、子供たちがそれぞれ巣立ってしまい、今や義母と家内の三人家族となった我が家（長男は会社勤めで帰宅が深夜になり）では「ペットは鏝」そのものの家庭生活です。夫婦の話題も自ずから愛犬のことで、愛犬の一手一投足に会話の花が咲きます。ゴールデン・リトリーバーのリョウ（オス3歳）ミニチュア・ダックスフンドのケイ（オス2歳）の名前は、ご開山龍溪禅師のお名前に因んだものです。ドッグイヤーといったら、犬は人間の7倍のスピードで年をとります。彼らが寿命を全うするのは、きっと小柄より早いはず。住職は出家の身、九島院の歴代墓地にたった一人で埋葬されますが、彼ら二人と同じ墓に入りたい。そして墓碑銘には「当院二十五代啓知證大和尚とリョウ・ケイの墓」と刻もうと思っています



### 水灯会・お施餓鬼法要

8月19日（火）  
午後1時半より

※ご先祖供養です。宗旨に関係ありません  
ご回向お申し込み下さい。

法 話 ・ 住 職

ご  
案  
内

今年こそ星野タイガース・大阪近鉄バッファローズ日本シリーズ（西大阪線対決）祈願！